

大阪海区漁業調整委員会委員の任命について同意を求める件

〔大阪海区漁業調整委員会委員〕

現 委 員 〔 生年月日・年齢 現 職 等 任 期 〕	新 委 員 (案) 〔 生年月日・年齢 現 職 等 任 期 〕
<p>おか 岡 おさむ 修</p> <p>昭和 25 年 4 月 17 日生 74 歳 大阪府漁業協同組合連合会 代表理事長 1 期目：H28. 8. 15～R3. 3. 31 2 期目：R3. 4. 1～R7. 3. 31</p>	<p>再 任</p> <p>3 期目：R7. 4. 1～R11. 3. 31</p>
<p>た だ みのる 多 田 稔</p> <p>昭和 32 年 12 月 11 日生 67 歳 元近畿大学農学部教授 1 期目：R3. 4. 1～R7. 3. 31</p>	<p>再 任</p> <p>2 期目：R7. 4. 1～R11. 3. 31</p>
<p>た なか えい じ 田 中 映 治</p> <p>昭和 28 年 12 月 16 日生 71 歳 大阪府鱸巾着網漁業協同組合副組合長 1 期目：R3. 4. 1～R7. 3. 31</p>	<p>再 任</p> <p>2 期目：R7. 4. 1～R11. 3. 31</p>

<p>ひ ぐち まさ あき 樋 口 正 明</p> <p>昭和 41 年 1 月 25 日生 59 歳</p> <p>尾崎漁業協同組合副組合長</p> <p>1 期目 : R3.4.1~R7.3.31</p>	<p>再 任</p> <p>2 期目 : R7.4.1~R11.3.31</p>
<p>むら かみ とも こ 村 上 知 子</p> <p>昭和 45 年 12 月 23 日生 54 歳</p> <p>弁護士</p> <p>1 期目 : R3.4.1~R7.3.31</p>	<p>再 任</p> <p>2 期目 : R7.4.1~R11.3.31</p>
<p>おく ひろ ゆき 奥 浩 幸</p> <p>昭和 53 年 1 月 15 日生 47 歳</p> <p>深日漁業協同組合組合長</p> <p>1 期目 : H28.8.15~R3.3.31</p> <p>2 期目 : R3.4.1~R7.3.31</p>	<p>き かわ あき のり 鬼 川 明 則</p> <p>昭和 22 年 8 月 27 日生 77 歳</p> <p>堺市漁業協同組合理事</p> <p>任 期 : R7.4.1~R11.3.31</p>
<p>いま い いち ろう 今 井 一 郎</p> <p>昭和 28 年 1 月 6 日生 72 歳</p> <p>北海道大学名誉教授</p> <p>1 期目 : H30.12.21~R3.3.31</p> <p>2 期目 : R3.4.1~R7.3.31</p>	<p>そえ じま く み 副 島 久 実</p> <p>昭和 53 年 3 月 2 日生 47 歳</p> <p>摂南大学農学部准教授</p> <p>任 期 : R7.4.1~R11.3.31</p>
<p>ごう だ すすむ 合 田 進</p> <p>昭和 36 年 8 月 5 日生 63 歳</p> <p>泉佐野漁業協同組合副組合長</p> <p>1 期目 : R6.9.19~R7.3.31</p>	<p>た しろ なお ひろ 田 代 直 博</p> <p>昭和 40 年 6 月 10 日生 59 歳</p> <p>高石市漁業協同組合副組合長</p> <p>任 期 : R7.4.1~R11.3.31</p>

<p>つね まつ むつ ひろ 常 松 睦 弘</p> <p>昭和 43 年 4 月 24 日生 56 歳</p> <p>泉大津漁業協同組合理事</p> <p>1 期目 : R3. 4. 1 ~ R7. 3. 31</p>	<p>で ぐち かつ ひら 出 口 勝 啓</p> <p>昭和 38 年 9 月 12 日生 61 歳</p> <p>岡田浦漁業協同組合副組合長</p> <p>任 期 : R7. 4. 1 ~ R11. 3. 31</p>
<p>つ もと よし たか 津 本 芳 孝</p> <p>昭和 43 年 4 月 18 日生 56 歳</p> <p>堺市沿岸漁業協同組合理事</p> <p>1 期目 : R3. 4. 1 ~ R7. 3. 31</p>	<p>やま うち かず ひと 山 内 和 人</p> <p>昭和 39 年 5 月 21 日生 60 歳</p> <p>淡輪漁業協同組合副組合長</p> <p>任 期 : R7. 4. 1 ~ R11. 3. 31</p>

※ 年齢は令和 7 年 3 月 31 日時点での年齢

略 歴

住 所 岸和田市

おか
岡

おきむ
修

昭和25年4月17日生

昭和43年	4月	関西大学第一高等学校中退	
同	43年	4月	春木漁業協同組合正組合員（現在に至る。）
同	43年	4月	大阪府鱈巾着網漁業協同組合正組合員（現在に至る。）
平成17年	6月	春木漁業協同組合理事	
同	23年	9月	大阪府鱈巾着網漁業協同組合代表理事組合長（現在に至る。）
同	23年	9月	大阪府漁業協同組合連合会理事
同	28年	6月	大阪府漁業協同組合連合会代表理事会長（現在に至る。）
同	28年	8月	大阪海区漁業調整委員会委員（現在に至る。）
同	28年	9月	瀬戸内海広域漁業調整委員会委員（現在に至る。）
同	28年	9月	公益財団法人大阪府漁業振興基金代表理事（現在に至る。）
同	29年	3月	大阪府豊かな海づくりプラン推進懇話会委員（現在に至る。）

(選任理由)

- 岡氏は、50年以上の長きにわたり、まき網漁業に従事しており、地区の漁業の状況をよく理解している。また、操業や漁場等の知識を幅広く持ち、漁業に関する様々な事象について、正しく判断する力を備えている。その他、資源管理のために、週休制や禁漁期、漁具規制を導入する等、資源管理・回復のための知識も豊富で、取組実績がある。
 - 大阪府鱈巾着網漁業協同組合では、平成23年から組合長を経験するなど、組合員からの信頼も厚くかつ指導力にも優れている。また、大阪府漁業協同組合連合会では、平成23年から2年間理事を、平成28年からは代表理事会長を務めており、大阪府の漁業を代表する人物である。
- 以上のことから、大阪海区漁業調整委員会の委員として適任であり、引き続き同委員を務めていただきたいと考える。

略 歴

住 所 奈良県奈良市

た だ みのる
多 田 稔

昭和32年12月11日生

昭和56年	3月	京都大学農学部卒業
同	56年	4月 農林水産省経済局統計情報部農林統計課
同	58年	4月 農林水産省経済局国際部貿易関税課
同	59年	10月 農林水産省農業研究センター農業計画部経営立地研究室研究員
平成	3年	4月 農林水産省四国農業試験場基盤研究部経営管理研究室研究員
同	4年	4月 農林水産省四国農業試験場基盤研究部経営管理研究室主任研究官
同	7年	10月 農林水産省国際農林水産業研究センター海外情報部主任研究官
同	10年	2月 水産庁中央水産研究所経営経済部比較経済研究室主任研究官
同	12年	4月 水産庁中央水産研究所経営経済部比較経済研究室比較経済研究室長
同	15年	4月 独立行政法人国際農林水産業研究センター国際情報部国際情報官
同	18年	4月 独立行政法人国際農林水産業研究センター国際開発領域長
同	20年	4月 近畿大学農学部教授
令和	3年	3月 大阪府豊かな海づくりプラン推進懇話会委員（現在に至る。）
同	3年	4月 大阪海区漁業調整委員会委員（現在に至る。）
同	3年	6月 公益財団法人大阪府漁業振興基金理事（現在に至る。）

(選任理由)

- ・多田氏は、水産経済学、開発経済学の研究分野における国際的な権威であり、「日本の水産物輸出変動要因に関する分析」や「漁獲データから水産資源を推定する手法と、その太平洋クロマグロへの適用」、「水産養殖における経営改善」など多くの著書・論文がある。
- ・また、国際漁業学会（JIFRS）の前会長を務めたほか、農林水産省、中央水産研究所、国際農林水産業研究センター（JIRCAS）等における行政研究経験も豊富で、漁業経営はもとより、水産資源や漁業調整など水産施策にも精通している人物。
- ・令和3年4月から大阪海区漁業調整委員会委員を務め、大阪府漁業調整規則の改正や漁業権の諮問、海区委員会指示等を協議・審議する過程の中で、これまでの経験等により培われた多角的な視点からの的確な意見を述べる等、その貢献は大きい。

以上のことから、大阪海区漁業調整委員会の委員として適任であり、引き続き同委員を務めていただきたいと考える。

略 歴

住 所 岸和田市

た なか えい じ
田 中 映 治

昭和28年12月16日生

昭和51年	3月	関西大学社会学部卒業
同 51年	4月	大阪府鱈巾着網漁業協同組合正組合員（現在に至る。）
同 60年	6月	大阪府鱈巾着網漁業協同組合監事
平成23年	6月	大阪府鱈巾着網漁業協同組合理事（現在に至る。）
同 23年	8月	大阪府鱈巾着網漁業協同組合副組合長（現在に至る。）
令和 3年	4月	大阪海区漁業調整委員会委員（現在に至る。）

(選任理由)

- ・田中氏は、昭和51年4月から長きにわたり、まき網漁業に従事しており、地区の漁業の状況をよく理解している。また、操業や漁場等の知識を幅広く持ち、漁業に関する様々な事象について、正しく判断する力を備えている。その他、資源管理のために、週休制や禁漁期、漁具規制を導入する等、資源管理・回復のための知識も豊富で、取組実績がある。
- ・大阪府鱈巾着網漁業協同組合では、昭和60年から監事、平成23年から現在に至るまで理事や副組合長を務める等、組合員からの信頼も厚くかつ指導力にも優れ、大阪府漁業協同組合連合会における中部地区を代表する人物といえる。

以上のことから、大阪海区漁業調整委員会の委員として適任であり、引き続き同委員を務めていただきたいと考える。

略 歴

住 所 阪南市

樋 口 正 明

昭和41年1月25日生

昭和56年	3月	阪南町立尾崎中学校卒業
同 56年	4月	尾崎漁業協同組合正組合員（現在に至る。）
平成16年	6月	尾崎漁業協同組合理事（現在に至る。）
令和 元年	6月	尾崎漁業協同組合副組合長（現在に至る。）
同 3年	4月	大阪海区漁業調整委員会委員（現在に至る。）

(選任理由)

- 樋口氏は、昭和56年4月から長きにわたり、さわら流網漁業に従事しており、地区の漁業の状況をよく理解している。また、操業や漁場等の知識を幅広く持ち、漁業に関する様々な事象について、正しく判断する力を備えている。その他、資源管理のために、週休制や禁漁期、漁具規制を導入する等、資源管理・回復のための知識も豊富で、取組実績がある。
- 尾崎漁業協同組合では、平成16年から理事、令和元年から現在に至るまで副組合長を務める等、組合員からの信頼も厚くかつ指導力にも優れ、大阪府漁業協同組合連合会における南部地区を代表する人物といえる。

以上のことから、大阪海区漁業調整委員会の委員として適任であり、引き続き同委員を務めていただきたいと考える。

略 歴

住 所 大阪市北区

むら 村 かみ 上 とも 知 こ 子

昭和45年12月23日生

平成 7年 3月	関西学院大学法学部卒業
同 17年10月	大阪弁護士会入会
同 17年10月	大阪弁護士会子どもの権利委員会委員
同 21年 4月	大阪弁護士会交通事故委員会委員
同 25年 5月	アークス総合法律事務所開設
同 25年12月	大阪弁護士会男女共同参画推進本部委員（現在に至る。）
令和 2年 4月	大阪弁護士会男女共同参画推進本部事務局長
同 3年 4月	大阪海区漁業調整委員会委員（現在に至る。）

(選任理由)

- ・村上氏は、約19年の弁護士経験を有しており、企業法務、家事、民事、刑事事件等幅広く経験を積んできた人物。
- ・令和3年4月から大阪海区漁業調整委員会委員を務めており、大阪府漁業調整規則の改正や漁業権の諮問、海区委員会指示等を協議・審議する過程の中で、中立的な立場から、法的な解釈や手続きについての的確な意見を述べる等、その貢献は大きい。

以上のことから、大阪海区漁業調整委員会の委員として適任であり、引き続き同委員を務めていただきたいと考える。

略 歴

住 所 堺市堺区

鬼 川 明 則

昭和22年8月27日生

昭和38年 3月 堺市立月州中学校卒業
同 47年 2月 堺市漁業協同組合正組合員（現在に至る。）
平成 元年 6月 堺市漁業協同組合監事
同 3年 6月 堺市漁業協同組合理事（現在に至る。）

(選任理由)

- 鬼川氏は、50年以上の長きにわたり、刺網漁業に従事しており、地区の漁業の状況をよく理解している。また、操業や漁場等の知識を幅広く持ち、漁業に関する様々な事象について、正しく判断する力を備えている。その他、資源管理のために、週休制や禁漁期、漁具規制を導入する等、資源管理・回復のための知識も豊富で、取組実績がある。
- 堺市漁業協同組合では、平成元年から監事、平成3年から現在に至るまで理事を務める等、組合員からの信頼も厚くかつ指導力にも優れ、大阪府漁業協同組合連合会における北部地区を代表する人物といえる。

以上のことから、大阪海区漁業調整委員会の委員として適任である。

略 歴

住 所 枚方市

そえ しま く み
副 島 久 実

昭和53年3月2日生

平成13年	3月	鹿児島大学水産学部卒業
同 15年	3月	広島大学大学院生物圏科学研究科修士課程修了
同 18年	3月	広島大学大学院生物圏科学研究科博士課程修了
同 18年	7月	独立行政法人水産総合研究センター中央水産研究所研究等支援職員
同 20年	2月	独立行政法人水産大学校水産情報経営学科助教
同 20年	4月	独立行政法人水産大学校水産流通経営学科助教
同 21年	1月	山口県海面利用協議会委員
同 22年	4月	独立行政法人水産大学校水産流通経営学科講師
同 24年	8月	山口県日本海海区漁業調整委員会委員
同 26年	3月	瀬戸内海広域漁業調整委員会委員
同 28年	4月	国立研究開発法人水産研究・教育機構水産大学校水産流通経営学科講師
同 30年	5月	オールボー大学客員研究員
令和 2年	4月	摂南大学農学部准教授（現在に至る。）

(選任理由)

- ・副島氏は、20年以上にわたり、水産業や水産物流通に関する専門家として教育・研究に携わってきた。特に水産物流通に関しては、専門書や専門雑誌への執筆も多く、全国の水産高校で用いられる文部科学省著作教科書「水産流通」の審査協力者も務めている。
- ・また、瀬戸内海広域漁業調整委員会委員や、山口県の日本海海区漁業調整委員会委員及び海面利用協議会委員を歴任した他、研修講師も多数務めており、水産施策の幅広い分野に高い識見を有する。

以上のことから、大阪海区漁業調整委員会の委員として適任である。

略 歴

住 所 高石市

た しろ なお ひろ
田 代 直 博

昭和40年6月10日生

昭和56年	3月	高石市立高石中学校卒業
同 57年	1月	高石市漁業協同組合正組合員（現在に至る。）
平成13年	5月	高石市漁業協同組合監事
同 19年	6月	高石市漁業協同組合理事（現在に至る。）
同 28年	8月	大阪海区漁業調整委員会委員
令和 4年	6月	高石市漁業協同組合副組合長（現在に至る。）

(選任理由)

- ・田代氏は、40年以上の長きにわたり、船びき網漁業に従事しており、地区の漁業の状況をよく理解している。また、操業や漁場等の知識を幅広く持ち、漁業に関する様々な事象について、正しく判断する力を備えている。その他、資源管理のために、週休制や禁漁期、漁具規制を導入する等、資源管理・回復のための知識も豊富で、取組実績がある。
- ・高石市漁業協同組合では、平成13年から監事、平成19年から理事、令和4年から現在に至るまで副組合長を務める等、組合員からの信頼も厚くかつ指導力にも優れ、大阪府漁業協同組合連合会における北部地区を代表する人物といえる。

以上のことから、大阪海区漁業調整委員会の委員として適任である。

略 歴

住 所 泉南市

で ぐち かつ ひら
出 口 勝 啓

昭和38年9月12日生

昭和54年 3月 泉南市立西信達中学校卒業
同 62年 7月 岡田浦漁業協同組合正組合員（現在に至る。）
平成27年 6月 岡田浦漁業協同組合理事（現在に至る。）
同 30年 6月 岡田浦漁業協同組合副組合長（現在に至る。）

(選任理由)

- 出口氏は、昭和62年7月から長きにわたり、すずき建網漁業に従事しており、地区の漁業の状況をよく理解している。また、操業や漁場等の知識を幅広く持ち、漁業に関する様々な事象について、正しく判断する力を備えている。その他、資源管理のために、週休制や禁漁期、漁具規制を導入する等、資源管理・回復のための知識も豊富で、取組実績がある。
- 岡田浦漁業協同組合では、平成27年から理事、平成30年から現在に至るまで副組合長を務める等、組合員からの信頼も厚くかつ指導力にも優れ、大阪府漁業協同組合連合会における中部地区を代表する人物といえる。

以上のことから、大阪海区漁業調整委員会の委員として適任である。

略 歴

住 所 泉南郡岬町

やま うち かず ひと
山 内 和 人
昭和39年5月21日生

昭和55年 3月 岬町立岬中学校卒業
同 56年 3月 淡輪漁業協同組合正組合員（現在に至る。）
平成17年 6月 淡輪漁業協同組合理事（現在に至る。）
同 23年 6月 淡輪漁業協同組合副組合長（現在に至る。）

(選任理由)

- 山内氏は、昭和56年3月から長きにわたり、底びき網漁業に従事しており、地区の漁業の状況をよく理解している。また、操業や漁場等の知識を幅広く持ち、漁業に関する様々な事象について、正しく判断する力を備えている。その他、資源管理のために、週休制や禁漁期、漁具規制を導入する等、資源管理・回復のための知識も豊富で、取組実績がある。
- 淡輪漁業協同組合では、平成17年から理事、平成23年から現在に至るまで副組合長を務める等、組合員からの信頼も厚くかつ指導力にも優れ、大阪府漁業協同組合連合会における南部地区を代表する人物といえる。

以上のことから、大阪海区漁業調整委員会の委員として適任である。